287）　明日は花嫁

小学校にまだ入る前　　花嫁さんに憧れていた
野原に咲いた花を集めて　　ティアラに編んだあの初夏の日々
花嫁さんに行くときだって　　お母さんと一緒だもんと
まわりの人を笑わせたこと　　昨日のように思い出される

あれから過ぎた21年　　明日わたしは花嫁になる
父の髪には白髪(しらが)がめだち　　母の顔には小じわがふえた
生まれた日から今日の日までを　父さん母さんただありがとう
育った家を出ると思うと　　感謝の気持ちで涙あふれる

朝からひとりお酒を飲んでる　　父さんの目に涙が光る
今母さんは台所にいて　　あいも変わらず働いている
弟だけが部屋でテレビを　　見ているけれど何も言わない
どこにでもある家族だけれど　　今日が最後の一家団欒(いっかだんらん)

困ったときには電話するのよ　　母は優しく言ったけれども
そんなことでは電話はしない　　わたしのことは心配しないで
まず誰よりも幸福になり　　親孝行をしてみせるから
明日が来るまであと一日を　　この家の娘(こ)でいさせてください

→